

《社会福祉法人 仁育会 経営理念》

地域との連帯を深め信頼される社会福祉施設としての確立と、安心と安全を守るゆとりある生活支援を目指します。

《青梅療育院運営方針》

1. 利用者から安心されるサービスの提供
1. 生活の安全を守るサービスの提供
1. 要介護度に応じた適切なサービスの提供

＝ 8月の行事計画＝

- 4日（木）誕生会
- 12日（金）選択食
- 16日（火）2階理美容
- 23日（火）3階理美容
- 26日（金）選択食

28日（日）納涼模擬店



＝ 9月の行事計画＝

- 1日（木）誕生会
- 9日（金）選択食
- 10日（土）十五夜お月見カフェ
- 19日（月）敬老会
- 20日（火）2階理美容

26日（月）3階理美容

30日（金）選択食



＝認知症の始まりと高齢化による思考力の退化＝

人間は年齢を重ねるごとに身体の機能が退化していきます。なぜ人の名前などがとっさに思い出せなくなるのでしょうか。

脳の老化は神経細胞が自然に減少することから始まります。これが早い人では30歳前半から始まり、1日に10万個の神経細胞が失われていくからです。

人間の成長は25歳までと言われますが、年齢を重ねるとともに体の中に形成されている自然的な細胞死が始まり、老化現象が次第に進行していくこととなります。

年齢を重ねると次のような症状が多くなり、認知症かもしれないと気にされる方もいるかもしれませんが、これらは必ずしも認知症、もしくは認知症予備軍に分類される訳ではありません。

- ・ ガス栓の止め忘れや水道の出しっぱなし。急に来客があったり電話が鳴ったりして、元栓を閉め忘れることがある。
- ・ 人の名前がすぐに思い出せない。ぼったりと出会った際に顔は覚えているが、名前がすぐに思い出せない。
- ・ 計算に時間がかかる。買い物に行ってあれも欲しい、これも欲しいと買い込んでしまったが、果たしていくらになるのか、つい買い込んでしまう。
- ・ 今何をしようとしたのか思い出せない。急に何気なく立ち上がったが、その瞬間に今何をしようとしたか迷ってしまう。
- ・ 物を置いた場所が思い当たらない。財布をどこにしまったのかしら、腕時計はどこかな、眼鏡はどことすぐに思い出せない。
- ・ 昨日のことが思い出せない。よくある話で昨夜は何を食べたのかと聞かれてもしばらく思い出せない。一日の行動も忘れてしまう。
- ・ 薬をのんだのを忘れてしまう。数時間してから今朝薬を飲んだかしら、心配になってしまう。

このような現象は健康的な方にも起こりうる現象であり、必ずしも認知症と

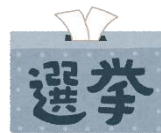
は限りませんが、現在では病院による物忘れ外来等も充実してきており、心配な方は病院で検査することも可能となりました。また、早期発見により症状の進行を遅らせる薬も出てきております。

遅かれ早かれ誰にでも起こる老化現象ですが、病的なものではなく日常生活に支障のないものと言われています。

人間は朝起きてから夜の眠りにつくまで、日常生活の中で無数の判断を続けて行動しています。仕事においても生活面でも、良し悪しの判断を必然的に行っていますが、認知症症状が起こると、この判断がつかなくなると、毎日の生活に支障をきたすことも出てきてしまいます。

しかしながら、人間は、誰もがその人らしく、人生を過ごすための権利を持っています。それには我々周りの人間が正しく認知症を理解し、正しく接することが重要です。

青梅療育院でも定期的に認知症の勉強会や講習を受け、入居者様に安全で楽しい毎日を過ごしていただきたいと思います。



不在者投票行いました

7月5日（火）参議院議員選挙の不在者投票を行いました。青梅療育院では47名の方が不在者投票を行いました。



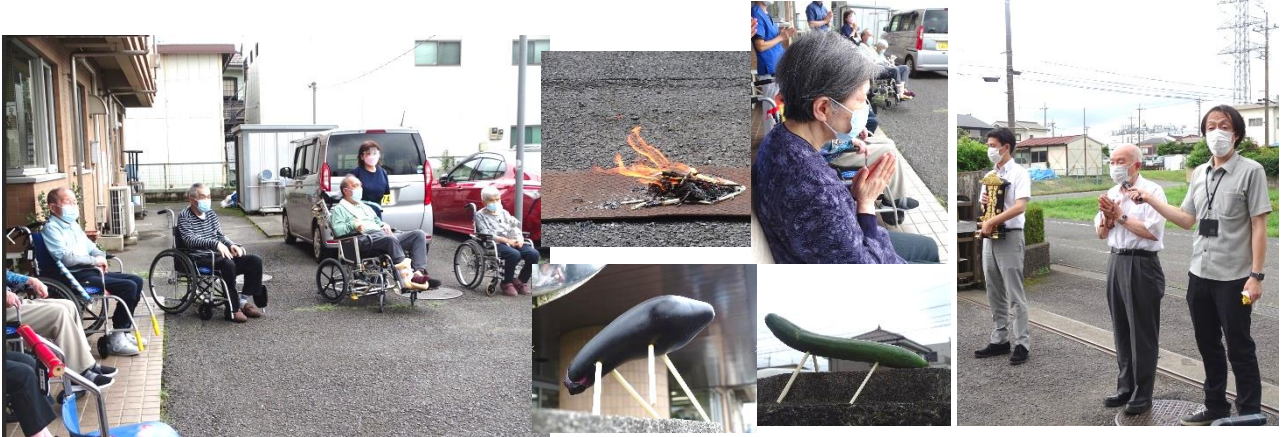
七夕

七夕の飾りを利用者の皆さんで作成し、思い思いの願い事を短冊に書き、1階のロビーに飾りました。



迎え火・送り火

今年もお盆の迎え火・送り火を施設で行いました。理事長の唱えるお経を聞きながら静かに手を合わせました。



土用の丑

大人気のうなぎ！！
1年に1度の楽しみです。



うなぎの苦手の方には天井をご提供しました！

